

令和7年度 第50回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 準1級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は紙芝居について述べたものである。正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) 演じ手の紙の抜き方、動かし方、間の取り方は、子供たちの興味に影響しない。
- (2) 聞き手の子供たちは演じ手のかけ声に合わせて声を出すなど、参加しながら応答的に楽しむことができる。
- (3) 子供たちが見る側に絵が描かれ、裏側にセリフのみが書かれている。

2 次の文は絵本の選び方について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

1歳は言葉への興味や関心を促す時期。子供にとって（1）やできごとが描かれ、なじみがある言葉や（2）のある言葉で展開される絵本が楽しい。

4歳は話し言葉がほぼ完成し、想像力がますます豊かになる。（3）を楽しむことができる。知らない世界、不思議な世界への（4）が強くなる。

- ア 集中 イ イメージ ウ リズム エ 言葉遊び
オ 憧れ カ 身近なもの キ 物事の道理

3 次のうち、「グリム童話」を下記から3つ選び、記号で答えなさい。

- ア 人魚姫 イ かえるの王様 ウ 星の銀貨 エ 北風と太陽
オ ブレーメンの音楽隊 カ 赤い靴

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2				3		
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)			
解 答										
得 点										

合計点		合・否
-----	--	-----

令和7年度 第49回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 準1級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は紙芝居について述べたものである。正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) 紙芝居は読むものではなく、演じるものである。
- (2) 子供たちは物語の世界のみを楽しむ。
- (3) 紙芝居は集団を対象に作られていることから、聞き手の子供同士で楽しさを共有できる。

2 次の文は絵本の選び方について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

0歳は絵本を通して大人とのかかわりを楽しむ時期。（ 1 ）が発達する時期であるため、はっきりした色や輪郭の絵本が（ 2 ）しやすい。

3歳は子供同士の遊びが活発になる、言葉を使って思考し（ 3 ）を楽しむことができる。想像力が豊かになり、（ 4 ）するような物語の世界を楽しむことができる。

ア イメージ イ ハラハラドキドキ ウ 身近なもの エ 視力
オ 集中 カ 知的好奇心 キ 会話

3 次のうち、「イソップ寓話」を下記から3つ選び、記号で答えなさい。

ア すっぱいぶどう イ 金のがちょう ウ ヘンゼルとグレーテル エ 金の斧
オ 雪の女王 カ アリとキリギリス

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2				3		
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)			
解 答										
得 点										

合計点		合・否
-----	--	-----

令和6年度 第48回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は絵本の読み聞かせについて述べたものである。正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) 絵本は、絵と言葉がともに世界をつくり出す作品であり、読み手と聞き手が一緒に世界を共有することができる。
- (2) 大人が子供に絵本を読むことで、人とのふれあい、やりとりを楽しみ、子供は大人に親しみを抱くようになる。
- (3) 聞き手の子供同士で、楽しい感覚は共有できない。
- (4) 言葉や想像力、思考力をはぐくむことができる。

2 次の文は紙芝居について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

現代の子供たちは、生まれたときからテレビやビデオの（1）映像に慣れ親しんでいる。しかし、語りによって一枚一枚絵が抜かれて展開していく紙芝居には、演ずる人と観客の（2）によってストーリーの展開の（3）が決まっていくことがあり、単に受け身で見ているテレビとは違った別の強い魅力がある。

ア テンポ イ 視覚教材 ウ 動く エ 呼吸 オ カラー
カ せりふ

3 次の(1)~(3)は、どこの国のお話か。適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) てぶくろ
- (2) 三匹のこぶた
- (3) スーホの白い馬

ア 中国 イ イギリス ウ アメリカ エ モンゴル オ フランス
カ ウクライナ

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2			3		
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
解 答										
得 点										

合計点		合・否
-----	--	-----

令和6年度 第47回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は絵本の種類について述べたものである。正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) 小型で厚みがあるものが多く、めくりやすさや安全性に配慮されている絵本を「赤ちゃん絵本」という。身近なものが描かれたものや、音の響きを楽しむものなどがある。
- (2) 子供が心地よく感じるリズムや言葉の絵本で、節をつけてうたったり、テンポよく読んだりすることができるものを「リズムの絵本」という。
- (3) ストーリーのある絵本を「物語絵本」という。昔話・民話の絵本と創作の絵本がある。
- (4) 子供の好奇心や興味をかき立て、楽しみ・発見がある絵本を「勉強絵本」という。科学の絵本や言葉・文字の絵本などがある。

2 次の文は紙芝居について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

紙芝居は、幼児に極めてわかりやすい（1）教材として、保育施設で多く利用され、子供の集まるいろいろな場所で使用されている。一つの物語の内容をいくつかの場面に区切り構成したもので、絵を一枚一枚見せながら（2）とナレーションによって物語を聞かせていく。紙芝居という形式は、日本独自の（3）である。

ア カラー イ 間 ウ せりふ エ 児童文化財 オ 視覚

3 次のうち、「アンデルセン童話」を下記から3つ選び、記号で答えなさい。

ア 赤いろうそく イ マッチ売りの少女 ウ カエルの王様 エ スズの兵隊
オ おやゆび姫 カ 親指トム

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2			3		
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)			
解 答										
得 点										

合計点		合・否
-----	--	-----

令和5年度 第46回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は紙芝居について述べたものである。正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) テレビやビデオと同じ一方向の教材で、受け身で見るものである。
- (2) 紙芝居という形式は、日本独自の児童文化財である。
- (3) 幼児に分かりやすい視覚教材として、保育施設で多く利用されている。
- (4) お話が裏側に書かれているので、事前の準備が十分でなくても簡単に行うことができる。

2 次の文は絵本の読み聞かせについて述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 読み聞かせをする人は、ゆっくりと（ ）を込めて読むことが大切である。
- (2) 子供たちがお話の流れについてくる速度は一定でないため、読みながら子供の（ ）を確かめる。
- (3) 場面転換の際は、ページをめくる間合いや声色に（ ）をつける工夫をする。

ア 様子 イ 感情 ウ 説明 エ 興味 オ 変化

3 次のうち、「日本五大昔話」を下記から3つ選び、記号で答えなさい。

ア かちかち山 イ 金太郎 ウ 桃太郎 エ 笠地蔵 オ 舌切りすずめ
カ 浦島太郎

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2			3		
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)			
解 答										
得 点										

合計点		合・否
-----	--	-----

令和5年度 第45回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は紙芝居を演じるときの留意点について述べたものである。正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) 紙芝居の舞台は、子供の目の高さより少し低めにする。
- (2) 演じる人の後ろ側から日がさしていると見えにくくなるため、場所を変更する。
- (3) 説明文に頼らず、紙芝居の内容を自分らしくアレンジして話すようにするとよい。
- (4) 大げさに演じる必要はなく、自然に演じる。

2 次の文は絵本の読み聞かせについて述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- ・子供が聞き取りやすいように（1）をおき、はっきりと（2）する。
- ・（3）がきれいで、子供の想像力を刺激するものを選ぶ。

ア 絵 イ 様子 ウ 間 エ 変化 オ 開きぐせ カ 発音

3 次のうち、「イソップ寓話」を下記から3つ選び、記号で答えなさい。

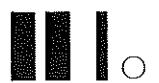
ア 白鳥の王子 イ 北風と太陽 ウ 星の銀貨 エ アリとキリギリス
オ ブレーメンの音楽隊 カ ウサギとカメ

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2			3		
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)			
解 答										
得 点										

合計点		合・否
-----	--	-----



令和4年度 第44回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は絵本の読み聞かせをするときの注意点について述べたものである。正しいものには○、誤っているものには×印を記入しなさい。

- (1) 途中で閉じたり、見えにくくなったりしないように、開きぐせをつけておく。
- (2) 子供が聞き取りやすいように間を置き、はっきりと発音し、適切な音量で読む。
- (3) 絵本は、ぐらつかないように持つ。
- (4) 絵本を読み終えた後、質問をして内容を確認する。

2 次の文は絵本の種類について述べたものである。該当するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 昔話や民衆の語り継いできた話を題材にした絵本。伝承されてきた断片を採集し、現代的な語り口にするのではなく作者の感性で再話し、絵本化したもの。
- (2) ストーリー絵本ともいう。ストーリーの展開や起伏を描いて、テーマを読者に伝えようとしている絵本。
- (3) 折り畳み部分が立ち上がる、タブを引くと絵の部分が動く、くりぬき部分から次のページが見える等、工夫されている絵本。

ア 文字なし絵本 イ 仕掛け絵本 ウ 物語絵本 エ 昔話・民話の絵本

3 次のうち、アンデルセン童話を下記から3つ選び、記号で答えなさい。

ア 即興詩人 イ おじかとライオン ウ 赤い靴
エ 親指トム オ みにくいアヒルの子 カ うさぎとかめ

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2			3
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	
解 答								
得 点								

合計点		合・否
-----	--	-----

令和4年度 第43回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は紙芝居の演じ方について述べたものである。正しいものには○、間違っているものには×印を記入しなさい。

- (1) 演じる前に紙芝居の順番を確認しておく。
- (2) 十分に下読みをして、情景や登場人物を確認する。
- (3) 紙芝居は上手側に抜き、後ろに挿入する。
かるて
- (4) 終わりに「おしまい」と言い、最初の場面に戻って終わる。

2 次の文は絵本の種類について述べたものである。該当するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) ファーストブックとも呼ばれ、子供が初めて出会う絵本。
- (2) 絵のみでストーリーを展開させる絵本。文字を全く使わないことで、動物の親子等の表情や動きの豊かさを感じさせたりすることのできる絵本。
- (3) 物やことがらを知識として知らせ、気づかせる働きをする絵本。

ア 文字なし絵本 イ 知識の絵本 ウ 物語絵本 エ 赤ちゃん絵本

3 次のうち、グリム童話を下記から3つ選び、記号で答えなさい。

ア ずるい狐 イ 眠れる森の美女 ウ 小人のくつや
エ パンをふんだ娘 オ もみの木 カ いばら姫

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2			3
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	
解 答								
得 点								

合計点		合・否
-----	--	-----

令和3年度 第42回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は絵本の読み聞かせについて述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 絵本のサイズはある程度の () があること。
- (2) 幼児の位置から () がよく見えること。
- (3) 一つの絵に対して、お話と () がっていること。

ア 大きさ イ 物語 ウ 内容 エ 絵 オ 文字

2 次の文は紙芝居の演じ方について述べたものである。正しいものには○、間違っているものには×印を記入しなさい。

- (1) お話とその演じ方が裏側に書かれているので、下読みをしなくともその場で演じることができる。
- (2) 画面をオーバーに動かしたり、極端なジェスチャーを加えたりすることは望ましくない。
- (3) 子どもたちの顔の表情や反応をみながら演じる。
- (4) 最後の場面は抜かないでそのまま終わる。

3 次のうち、グリム童話を三つ選び、記号で答えなさい。

ア ラプンツェル イ アリとキリギリス ウ 人魚姫
エ マッチ売りの少女 オ おいしいおかゆ カ 星の銀貨

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2				3		
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)			
解 答										
得 点										

合計点		合・否
-----	--	-----

令和3年度 第41回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 2級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は絵本の読み聞かせをする場合の注意点について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 絵本の持ち方は（ ）していてぐらつかないことである。
- (2) 途中で閉じたり、見えにくくなったりしないように（ ）をつけておくこと。
- (3) お話の流れによって、（ ）速度やめくる速度が適切であること。
- (4) 読み聞かせをする人は、ゆっくりと（ ）を込めて読むことが大切である。

ア 心 イ 開きぐせ ウ 読む エ 安定 オ 変化

2 次の文は紙芝居について述べたものである。正しいものには○、間違っているものには×印を記入しなさい。

- (1) 紙芝居は「絵」と演じ手の「語り」が主体となっている。
- (2) 紙芝居という形式は、日本独自の児童文化財である。
- (3) 一人でお話を進めていくので、独創性を加える方がよい。

3 次のうち、「日本むかしばなし」を下記から三つ選び、記号で答えなさい。

ア 大きなかぶ イ かちかちやま ウ うさぎとかめ
エ ふるやのもり オ てぶくろ カ かぐや姫

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2			3
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	
解 答								
得 点								

合計点		合・否
-----	--	-----